

県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練について

1 訓練のポイント

- ・ 県内外の各グループ、組織が自らの「困っている」「困るであろう」ことに気づく。
- ・ 「困っている」こと等を解決するための方策を検討する。
 ※「困っている」こと等を補える相手とつながる。
- ・ つながった後の関係をいかに継続させるか。(相互理解を深める)
- ・ 見つかった課題に対し、解決方法が見つかり、行動できるようにする。
- ・ 要援護者支援について
- ・ 市町支援チームの役割や動き、求められるスキルを明らかにする。
 (県災害V本部と市町支援チームの見える化)

2 訓練での県災害V本部及び市町支援チームのコンセプト等

◎今回は、市町支援チームの役割(仮説を立てる)を検証する。

キーワード:「情報共有」と「連携」⇒訓練では、このあり方を県災害V本部、市町支援チームで検証する。

・「情報共有」と「連携」のイメージ

| 県災害V本部 | 市町支援チーム | 市町災害V本部 |
|--|---|---|
| | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町支援チーム間の情報共有と連携の具体化を検討する。 ・ 県外支援団体等との情報共有(発信)、連携を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当エリア内の市町災害V本部間の情報共有と連携を検討する。 ・ 県災害V本部や近隣エリア市町支援チームとの情報共有と連携を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町内の地域組織や災害ボランティア、県内外の支援団体間の情報共有と連携を検討する。 ・ 市町支援チームとの情報共有と連携を図る。 |

3 県災害V本部及び市町支援チームの役割

(1) 県災害V本部

- ・ 県域、全国的な調整が必要な課題への対応

発災直後～市町ボランティア本部立上げ期

- ① 県災害対策本部に出向き各市町の被災状況把握

- ② 各市町社協職員（市町V本部運営者）の安否状況等の把握
- ③ 市町ボランティア本部立上げ見込みの情報収集と発信
- ④ **市町ボランティア本部運営支援者の派遣依頼（社協ブロック・支援P・NPO・企業など）**
- ⑤ 市町支援チームの要員確保（社協ブロック・支援P・NPO・企業など）
- ⑥ その他、状況把握のための情報収集と発信、関係機関への協力要請

市町V本部立上げ後～V本部運営期（支援チームが機能し始めた後～復旧・復興も含め）

- ① 県内全体の支援活動状況の情報収集および発信（支援チームより情報収集）
- ② **市町支援チームの統括と市町支援チーム同士の情報共有**
- ③ **外部支援者等（市町V本部運営者など）の派遣要請および調整**
- ④ 必要資機材の各種団体等への提供依頼・情報発信および需給調整
- ⑤ **各種支援団体の活動状況把握および情報発信**
- ⑥ **その他、各市町V本部のニーズ把握と支援（人・物・情報など）**

（2）市町支援チーム

- ① **市町災害ボランティア本部と県本部・情報センターとの連絡調整**
- ② 市町災害ボランティア本部立上げ・運営状況についての情報収集と発信
- ③ **市町災害ボランティア本部のニーズの把握と関係機関への支援要請**
- ④ 市町災害ボランティア本部立上げ・運営に必要な支援要員の派遣や資機材・物資の提供等についての、関係機関への要請と**近隣市町間の需給調整**
- ⑤ **広域（複数市町など）で支援活動を行う支援団体の情報の収集及び発信**
- ⑥ 市町単位での支援団体等による連絡会の開催提案及び支援
- ⑦ **複数の近隣市町単位での市町災害ボランティア本部や支援団体等による連絡会の開催及び運営支援**

市町支援チームの権限

・担当エリア内及び近隣エリアの市町支援チームとの調整で解決可能な課題については、**原則、市町支援チームに対応を任せる。**

※但し、調整等の記録は残し、県災害V本部に報告する。

※全県的、全国的な依頼事項等、担当エリア、近隣エリアとの調整だけでは、**難しい課題については、県災害V本部への報告・相談を行う。**

※金銭的な権限は持たない。（物品購入等）

市町支援チームの構成

1 チーム2人以上の複数人で構成することを原則として、次の者を中心に県本部・情報センターが編成します。

・静岡県社会福祉協議会職員及び静岡県ボランティア協会職員

- ・都道府県・指定都市社会福祉協議会ブロック派遣職員
- ・県外の災害ボランティアコーディネーター（支援P、NPO、NGO等）

〈被災状況に応じて、協力が可能な場合〉

- ・県内の市町社協職員 ・県内の災害ボランティアコーディネーター
- ・県内外の企業及び各種団体(青年会議所等)

(3) 現地担当（今回の訓練では、市町支援チームと兼務）

- ①担当地域（市町）への人的、物的支援及び職員派遣の調整
- ②地元主体の支援及び市町災害V本部の支援体制、中長期的な視点でのアドバイス等（リエゾンの役割）
- ③市町災害V本部の情報収集と提供
- ④近隣市町間連携の補助
- ⑤その他

必要と思われる情報等

| | 緊急期 | 復旧期 | 復興期 |
|----|---|--|--|
| 人 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民 ・地域のボランティア ・県内外支援者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア（ガレキ） ・ボランティア（サロン等） ・地域住民 ・生活支援相談員 ・県内外支援者 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援相談員 ・ボランティア（サロン等） ・地域住民 ・県内外支援者 |
| もの | <ul style="list-style-type: none"> ・移動手段（車、自転車等） ・活動資機材 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動資機材 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動資機材 |
| 情報 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の安否 ・職員の様子（体調、精神面） ・県域の状況 ・近隣市町の状況 ・ライフライン（特に道路状況） ・災害V本部の設置予定 ・避難所、福祉避難所の状況 ・避難所・地域住民の生活課題 ・要援護者の状況 ・ボランティアの状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の様子（体調、精神面） ・災害V本部の体制、運営 ・ボランティア・地域住民の動きの状況 ・災害復興支援本部の移行予定（生活相談支援の状況） ・避難所・仮設住宅（みなしも含む）の状況 ・地域住民の生活課題 ・要援護者の状況 ・支援団体等の情報 ・県域の情報 ・近隣市町の状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の様子（体調、精神面） ・災害復興支援本部の状況 ・生活支援相談員の状況 ・ボランティア・地域住民の動きの状況 ・避難所・仮設住宅（みなしも含む）の状況 ・地域住民の生活課題 ・要援護者の情報 ・支援団体等の情報 ・県域の情報 ・近隣市町の状況 |

※支援の視点：中長期的な視点に立ったアドバイスや支援計画の提案がいかに行えるか。